事業番号	166

平成27年度 事務事業評価シート

事業の概要

事務事業名	保育園施設営繕事業								担当部	こども未来部	
会計区分	一般会計			事業類型	実施計画事業				担当課	保育課	
事業期間	平成12年度以前 ～ 平成30年度以降								担当係	保育係	
総合計画分野別計画 主目的	3 教育・子育て 13 子育て支援 3 保育サービス・幼児教育を充実します										
総合計画分野別計画 副目的										実施計画対象	○
予算区分	款	3	項	3	目	4	大	4	中	2	
根拠法令・個別計画											
目的（対象をどの様な状態にするのか）	児童の心身ともに健やかな育成のため保育園施設の整備を行う。										
内容（手段）	◆26年度実施内容 園舎改修工事などを行う。 主な工事として、岩崎保育園駐車場整備工事、岩崎保育園保育室改修工事、古雅保育園乳児便所等改修工事、山北保育園通路シェルター改修工事、本庄保育園遊戯室手洗い設置工事等。 ◆26年度直接経費の内訳 測量設計委託料1,350千円、保育園営繕工事費14,798千円、保育園駐車場整備改修工事費7,980千円、物件移転補償費810千円 ※下記、国・県支出金は第三子保育料無料化事業129千円、その他財源は保育料3,431千円 ◆27年度直接経費の内訳 設計・監理委託料1,727千円、保育園営繕工事費32,400千円、保育園駐車場整備改修工事費1,800千円 ※下記、国・県支出金は第三子保育料無料化事業117千円、その他財源は保育料7,001千円										
受益者負担	有	保護者の所得状況により保育料単価が異なる。									

コスト

			単位	H24決算額	H25決算額	H26決算額	H27予算額
費用	直接経費		千円	80,557	55,007	24,938	35,927
費用	正職員	従事者数	人	0.70	0.70	0.70	0.70
費用	正職員	人件費	千円	3,682	3,682	3,682	3,682
費用	その他職員	従事者数	人	0.00	0.00	0.00	0.00
費用	その他職員	人件費	千円	0	0	0	0
費用	費用合計		千円	84,239	58,689	28,620	39,609
費用	対前年比		%		69.6	48.7	138.3
財源	一般財源		千円	60,472	48,172	25,060	32,491
財源	国・県支出金		千円	573	570	129	117
財源	その他財源		千円	23,194	9,947	3,431	7,001

事業番号	166

業績	活動指標名	単位		H24	H25	H26	H27
	営繕工事件数	件数	目標	8	25	21	21
			実績	32	21	20	
			目標				
			実績				
			目標				
			実績				
	成果指標名	単位		H24	H25	H26	H27
	実受入児童数（年間延べ受入人数）	人	目標	30,120	30,480	31,080	34,680
			実績	28,477	28,429	29,159	
			目標				
			実績				

事業の自己評価			
平成26年度の実施結果	事業の達成状況	予算範囲内で予定していた施設の修繕等を行い、保育環境の改善を図った。	
	事業実施における課題	老朽化した園舎にて運営している現状から、突然予定外の工事が発生する。	
	事業を縮小・廃止したときの影響	園児の安全で快適な保育園生活を保障できない。	
平成27年度の改善内容	27年度における事業の改善・見直し内容（新規追加事項、廃止・削減事項等）	平成27年度は主に岩崎保育園遊具設置工事、さくら保育園駐車場整備工事など計画的に営繕工事を実施し、施設の長寿命化を図る。	
平成28年度の事業の方向性	方向性の判定	維　持	事業のボリュームを現状規模で維持すべきもの（対象や手段を見直す場合も含む）
	判定理由	適切な、工事を実施し、保育園の老朽化・使い勝手等を改善する必要がある。	
	28年度以降の改善案	今後も園児が安全、快適に保育園生活をおくれるよう、計画的に営繕工事を実施する。 工事の実施に際しては、今後検討する園舎の建替計画と整合性をとりながら、既存の長寿命化を図っていく。	

二次評価	方向性の判定	判　定　理　由
	維　持	一次評価のとおり。 ファシリティマネジメントの視点から、計画的に営繕工事を実施し、建物の長寿命化を図ること。